

第1回熊本市小中一貫教育検討委員会（議論のまとめ）
 「熊本市小中一貫教育のあり方について」8月3日（金）15:00～16:30

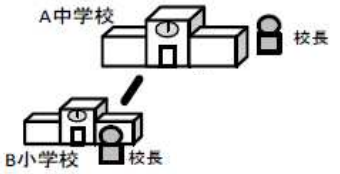
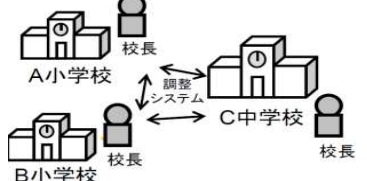
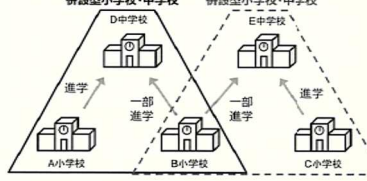
熊本市小中一貫教育・幼小中連携教育について

熊本市では、子どもの学びと育ちを義務教育9年間（幼稚園を含めると12年間）の連続性のもとでとらえ直し、全中学校区でそれぞれの校区の状況に応じた幼小中連携教育に取り組んでいます。

平成31年度からは各校区の連携教育をさらに推進し、希望する校区については小中一貫型小学校・中学校（小中一貫校）への移行も行います。

全中学校区をA～Cの3グループに分けて取組を推進

全中学校区をABCの3グループに分けてごとの取組案

Aグループ（小1中1）	Bグループ（小複中1）	Cグループ（小複中複）
		
<p>小中一貫型小中学校へ移行し、小学校の教科担任制、相互乗り入れ授業、小中合同行事の開催等を必要に応じて行う。</p>	<p>学校間で調整を行い、小中一貫カリキュラムの作成を目指す。小学校内の調整で教科担任制が可能であれば実施を目指す。</p>	<p>教育活動の連続性が確保できるように、生活や学習のルールを共有するなど小中連携カリキュラムを作成し、幼小中連携の強化を行う。</p>

各グループ共通の取組

- 各中学校区で幼小中連携教育がさらに充実するように、「目指す子ども像」を共有し、「連携の柱」を設定する。
- 小中連携カリキュラム「熊本市スタンダード」を活用し、各校区に応じた連携カリキュラムを作成する。

小中一貫型小学校・中学校（小中一貫校）への移行

- 富合校区、芳野校区については、平成31年度から小中一貫型小学校・中学校でスタートできるように移行準備を行う。
- 移行に向けては、時期、特色、組織、コーディネーターの設置などについて、モデル校の取組をもとにした具体的な検討が必要である。
- 小中一貫教育を推進するためには兼務発令、加配等の市教委の支援も必要になる。

【事務局からの連絡】 第2回小中一貫教育検討委員会の開催について
 日時：9月27日（木）14時～16時 場所：熊本市立芳野小学校
 内容：モデル校の視察、熊本市の小中一貫教育のあり方について協議 など